

「羽包み(はくくみ)」

第20号 令和3年12月1日発行

自立援助ホーム「湘南つばさの家」

〒253-0022 神奈川県茅ヶ崎市松浪 1-12-17

TEL・FAX 0467-58-6260 shonan-tsubasa@marble.ocn.ne.jp

〔郵便局での振込みは〕 ゆうちょ銀行 振替口座 00200-5-81277 自立援助ホーム 湘南つばさの家

〔銀行からの振込みは〕 ゆうちょ銀行 店名：〇ニ九(ゼロニキュウ) 当座 0081277 自立援助ホーム 湘南つばさの家

人生に責任を持つ

ホーム長 前川 礼彦

人は生きていの中で、様々な出来事に遭遇する。家族の下で生まれ育ち、親からのメッセージを受け、家族や所属する学校などでの人間関係と体験を通し、人格を形成していく。

そして思いもよらない出来事や病気、アクシデントがその後の人生に大きく影響する事もある。「なぜ私が」と自分の人生を恨む事もあるかもしれない。

何らかの理由で、生きる事が辛くなった人の気持ちは、なった人にしか分からない。どうなっても自分自身から逃れることは出来ず、痛みも悲しみも寂しさも全ての感情は自分自身にしか引き受けられない。

しかしそれも自身が作り上げたものだ。自身の受け取りを他者のせいではなく、自分の事として受け止め、それを否定的に捉えるか、もしくは何を見出すかで、人生は見える景色が違う。見える景色も真実も、全て自分の中にある。

厳密に言えば、人の気持ちなどその人の中だけにあるもの。そして過去を想起し未来を想像したとしても、意識は今この瞬間の連続体である。お互いの人生の中で、触れ合う時間を通し、交流したとしても、離れば人がどの様に生き、何を感じているかも分からない。会えない人を想うことも、自身の想像でしかない。その点では、人生とは、人とは、何と孤独なものか。

でも人との触れあいは人生に潤いを与えてくれる。出逢う人、お互いの生き方が人生に影響を与えてくれる。人との出逢いで刺激を受け、活力が生まれ、未来に希望が見えてくる。

もしこれから先に、思いもよらない困難や辛いことが訪れたとき、きっとそれは自分の人生で用意されたテーマなのだろう。そしていつしか乗り越える時が来るならば、自身の心がまた一歩成長をした証となり、次への人生のステージに繋がっていく。

生きていなかで、どんな事に遭遇するかは分からない。人生は不可解だ。今まで側に居た人が今はもう居ない。この胸の苦しみや幸せも全部引き受け、それぞれの人生、歩んできた道の中で、自身が人生に独自の意味を見出し、与えられた寿命まで精一杯生きる。その降りかかる全てにおいて、自分の人生に責任を持つ。そう思い、今日を過ごしている。

この人生のなかで、これからの未来を生きる若者たちに、人生を強く生きていってもらいたい。君たちがこれから生きていく人生を、私は自分の人生を通し、応援していこう。

全ての支援者、関係者の方々、いつもつばさの家を応援して下さい、心から感謝を致します。



ボランティア紹介

今回、ご紹介したい方は、学生アルバイトの袴谷直樹さんです。袴谷さんは1年前より、つばさの家のことに関心を持って下さいました。少年たちへ夕食を作ってください、宿直、時には彼らを遊びに連れて行って下さいます。社会のニュースにも詳しく、様々な体験をされており、その落ち着いた雰囲気には、少年たちだけでなく、スタッフも安心感を抱いています。いつもつばさの家を支えて頂き、ありがとうございます。

「今日も一日頑張って」

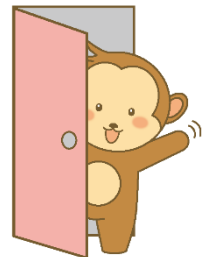
袴谷 直樹

「行ってらっしゃい。」朝、つばさの入所者の子が仕事に向かうときに掛ける言葉です。皆が使うにげない言葉だけど、その一言には「今日も一日頑張って」という気持ちがこもっている。そういう言葉だと自分は思っています。

つばさの家に関わりたと思ったきっかけに、自分が以前から働いている介護施設での経験があります。私がアルバイトをしている介護施設は東京の山谷という地域にあり、入居者はむかし肉体労働者をやっていたり、ホームレスの状態にあったおじいさんがほとんどです。そうした人たちが抱えている課題に共通しているのは孤独の問題です。身体を気遣ってくれるような親しい人がまわりにいないため、体調を崩しても医療に繋がれず悪化した状態で見つかるケース。生活が苦しくなっても頼れる人がいないために自分でなんとかしなければと追い込まれ、ホームレスになってしまった人。自分の働いている施設で天寿を全うされた方のご遺骨が親族に受け取ってもらえなかったこともありました。これらに通底している孤独の問題は誰しものが直面する可能性のある問題だと自分は思っています。

そういったことを考えている時に家族と暮らせない子どもが児童養護施設に入所しても18才になると退所して働かなければならないことを知りました。社会的養護の現場で、家族の後ろ盾なく自立を迫られる子どもたちの孤独や生きづらさが自分と無関係とは思えませんでした。調べていく中で、自立援助ホームという施設があることや、つばさの家のことを知りました。

つばさの家で働き始めて1年が経ちますが、入所者の子たちのエネルギーに負けないよう格闘の日々です。彼らがいつか困ったとき頼ってもらえるような存在になりたいと思ってはじめたボランティアですが、そのことの難しさに1年経って気付きました。それでも、彼らの心の端っこのほうでいつか思い出してもらえればいいなと思いながら、今日も「行ってらっしゃい」と彼らを送り出します。「今日も一日頑張って」の気持ちと一緒に。





つばさの家 支援者紹介

本号でご紹介する支援者は、「WE ショップ」というチャリティショップです。WE ショップ様では、衣類や雑貨などの寄付品を販売しています。その中でリユース・リサイクルの活動や、売上金を活用して国内外の支援をされているお店です。

つばさの家は、WE ショップさむかわ店と、にのみや店からご支援を頂いています。以前、他の支援者様がWE ショップ様につばさの家のお話をして下さり、繋げて頂きました。物品でのご支援や、経済的なご支援を頂いています。アパート暮らしの少年に食器や家具を揃えてくださるご支援も頂きました。

今回、二つの店舗にお伺いし、さむかわ店の代表・三澤様と、にのみや店の代表・露口様に、WE21 ショップでの具体的な活動内容や思いをお聞きしました。今回はお忙しい中、お時間を頂きありがとうございました。

「WE ショップ リユース・リサイクルで海外支援を」

お店の上の、オレンジ色の看板にそう掲げられています。お店に入るとたくさんの衣類と、食器やカバンなどの雑貨、アクセサリが並んでいます。寄付で集まった、数々の品物です。値段を見ると、大変お安いです。

WE21 ジャパン様は元々海外への支援が主でした。しかし、2011年の東日本大震災を機に、国内の支援にも目線が向けられるようになりました。毎年10月頃には、10月16日の世界食糧デーと17日の世界貧困デーを中心に、「貧困をなくそうキャンペーン」が開催されています。私たちが普段の暮らしでできることを考えるキャンペーンです。この期間の売上金は支援先に寄付されます。



↑ (お店の外観)

「持続可能な社会を継続して、子どもたちの未来がより良い社会になって欲しいです。」

WE ショップにのみや店の代表・露口様はそうお話しして下さいました。そのためには、生活の中で身近にできることを一歩ずつしていきたいと続けられました。WE21 ジャパン様の支援先を見ると、子どもの支援につながるものがほとんどです。つばさの家も高年齢児ではありませんが、子どもたちの未来につながるご支援を頂いています。

「原動力は人です」

WE ショップさむかわ店の代表・三澤様は支援の原動力について、そうお話しして下さいました。「支援活動をしている『人』、お買い物をして下さる『人』、お店で会話を楽しんでいる『人』、寄付を頂ける『人』など。信頼できる『人』に囲まれていることは、幸せです。」

お店の事務室にある掲示板を見ると、つばさの家からのお礼のお手紙を貼って下さっていました。つばさの家とのつながりを大切にしている思いで嬉しくなります。「目標を持って、飽きずに、地道に、諦めない」。三澤さんはそのような思いで支援を続けてこられました。

身近でできるお買い物が、支援につながります。寒川、二宮にお越しの際は、是非、チャリティショップ・WE ショップさむかわ店と、にのみや店にお立ち寄り下さい。

「WE ショップ さむかわ店」
住所：高座郡寒川町岡田 1-1-17
TEL：0467-75-8141
営業日：月-土 10:30~17:00
定休日 日・祝

「WE ショップ にのみや店」
住所：中郡二宮町二宮 1308-1
TEL：0463-71-4421
営業日：月-金 10:00~17:00
土 12:00~17:00
定休日 日・祝・第1、第3月曜



ホームの様子

ホームには現在 5 名の少年が入居しています。今年は 2 名が退居し、3 名が入居しました。それぞれ造園・土木、ゲーム関連、保育、清掃、販売の仕事に携わっています。

今春、18歳の少年が入居しました。つばさの家で暮らす中で、将来のことや自分のやりたいことを考えた末、来年から東京の専門学校に通う決心をしました。つばさの家から通うには遠く、学校近くのアパートに引っ越します。専門学校で資格を取得して卒業した後は、ホームの近くに帰ってきて仕事に就きたいようです。学生の間は少し距離が離れてしまいましたが、繋がりはもち続け、勉学とアパートの両立を支えていきたいです。

ある18歳の少年は、つばさの家に入居して半年が経とうとしています。仕事は無遅刻無欠勤です。時には早朝から出勤になり、眠い目をこすりながら頑張っています。

元々、家庭で十分な生活を送ることができず、以前、入所していた施設に繋がりました。施設の職員さんに温かく見守ってもらいながら育ち、18歳で就労の時を迎え、つばさの家に入居しました。今まで携帯電話を所持したことがありませんでしたが、仕事が安定したため、最近、念願の携帯電話を購入しました。楽しみにしていた反面、携帯電話でのインターネットやゲームへの自制心が心配です。



退居者（OB）の様子

つばさの家は毎年、数名の少年たちが退居しています。つばさの家の近くにアパートを借りる事がほとんどなのですが、そこからの関りの本番です。退居者（OB）の近況などもお伝えできたらと思います。

約10年前につばさの家を退居した青年は、現在一人暮らしをしています。持病を持っており治療をすると普段の生活と変わりなく過ごすことができますが、完全に治すことができない病気で、一生付き合っていかなければなりません。病気の影響もあり、つばさの家を退居後も仕事は長続きしませんでした。つばさの家以外のつながりも乏しく、本人の意欲の低さもあり、他のコミュニティにつなげることが難しい状況です。つばさの家では時々本人に来所してもらい、夕食を囲みます。細々でもつながりつつ、見守っていきたいと思います。

つばさの家には、上記のような困難を抱えながらも暮らしている青年もいます。本人の力だけではどうにもできず、仕事をする以前に、意欲が出せないまま日々を暮らしています。

生きる意欲の源は個人によって異なりますが、特に「人」の力は大きいと思われれます。「もっと人とのつながりがあれば、違う方向に向かえるのではないか」。そう思う時も多々あります。

◎居場所の情報を集めています

つばさの家では、地域などでの居場所を探しています。孤立している彼らに少しでもつながりを持たせて頂けましたら幸いです。趣味のコミュニティやボランティア、ちょっとしたお手伝いやのお仕事など。

本人の意欲にもよりますが、人とのつながりがある居場所をご紹介頂けましたら嬉しいです。情報のみでもお待ちしております。



新型コロナウイルスの影響

今年は新型コロナウイルスの影響により、催し事が少ない年になりました。現在の新型コロナウイルスの感染者数はピーク時より落ち着いており、つばさの家も感染対策を行いつつ少人数で少しずつ外出を試みています。これまで入居者には感染者は出ませんでした。OBは数名が感染してしまいましたが、幸いにも大事には至りませんでした。仕事は勤務時間が短縮になったため、経済的に苦しくなってしまった少年もいました。

感染する者が出ず、このまま感染者数が落ち着くことを願うばかりです。

久しぶりの山中湖旅行

秋に山中湖に行きました。感染対策として移動に使ったマイクロバスや、宿泊した山荘は貸し切りにしました。人混みは避け、なるべく野外の自然が多い場所に行きました。参加者も外部の方は呼びできず、つばさの家の内輪のみの外出となりました。

※Web の為、写真削除

以前は毎年夏に山中湖へ旅行しており、当時からお世話になったVIDES 山中サレジオ山荘に宿泊しました。明るく元気でいらっしゃるシスターに久しぶりにお会いすることができ、パワーを頂きました。山荘を囲む自然の中でバドミントンをしたり、近くの体育館を借りて球技大会を開いたりし、たくさん身体を動かしました。少年たちも久しぶりに思いっきり運動することができ、喜んでいました。

↑ (山荘の前にて)

月例湘南マラソン

ランニングが好きな少年がいます。月に1回開催されている月例湘南マラソンに、つばさの家のスタッフと一緒に少年も参加しています。湘南月例マラソンは、5kmのコースですと、鶴沼海岸から茅ヶ崎の汐見台までの海岸線を往復で走っています。スタッフの野田はダイエット目的ですが、少年は自己記録を狙っているようです。毎月走ることにより、気分転換にもなっている様子です。

※Web の為、写真削除

↑ (走り終わったあとのひととき)

一年に一度の大切な日 誕生日会

つばさの家は誕生日を大切にしています。1年に1度の自分の生まれた日は、その人にとって特別なもの。特につばさの家に来る少年たちは、自分を大切にしてもらったという経験が少ないです。そんな特別な日をお祝いしたいという思いで、当日に誕生日会を開いています。

※Web の為、写真削除

プレゼントと寄せ書きのバースデーカードを用意し、誕生日の夕食は好きなメニューです。夕食後はジュースで乾杯をして、手作りケーキを食べます。そして新たな年に向けて本人から抱負を語ってもらいます。OBの誕生日はそれぞれですが、つばさの家で祝ったり、外食でお祝いします。OBにもバースデーカードを渡し、距離が離れている時は郵送します。祝い慣れていない少年の、はにかむ表情を見ると嬉しくなります。

↑ (誕生日会の様子)

「児童福祉法改正の先に見据えるもの」

児童福祉法は数年毎に法改正を行っているが、来年度の2022年には一部改正があり、現在国の社会保障審議会児童部会社会的養育専門委員会にて議論が積み重ねられている。その中で自立支援においては、注目すべき改正案が二つある。

一つ目の案は児童福祉法の対象年齢の拡大である。従来児童福祉法は18歳未満が対象であり施設措置入所等の場合には、20歳未満までの措置延長をする事が出来、そして補助金制度を用いて22歳年度末まで延長できる現行制度が、今回の改正では必要に応じて次の制度に繋がるまでは22歳を超えても公的な支援が可能になるという事だ。例えば虐待を受け心の傷を抱えた青年は、長年に渡りその後遺症に悩まされるかもしれない。18歳まで公的機関と繋がる事が出来ず、長年家族との問題に苦しみ堪えながら生きてきた青年には、18歳を超えても生き直す事が出来る制度が必要だ。これらを国は包括的に児童自立生活援助事業の中に組み込み、法制化を試みる。

二つ目の案は地域の家庭等から自立支援を行う事業所等に通いながら、自立支援を受ける仕組みだ。従来の入所型である社会的養護関係施設や従来のアフターケア事業所が、地域の児童・青少年の相談支援拠点になっていく。これはこれからの福祉のステージは地域である事を示唆している。まだまだ児童相談所を中心とした専門的支援体制は続くだろうが、いずれ地域の社会資源が地域のあらゆる問題に対応できる仕組みになっていく事が予想される。

通所による自立支援を受ける対象は、入所措置等児童だけでなく、措置解除された児童・青年、もしくは児童相談所で一時保護され家庭復帰した児童、そして一時保護や児相の在宅指導措置を受けてない児童を対象とした。この「一時保護や在宅指導措置を受けてない児童」とは児童相談所に繋がる事なく、長らく在宅等で苦しんでいた児童等を差すが、これは非常に画期的な事である。専門家目線では「埋もれた社会的養護児童」の存在に国が注目してくれた事は、児相に繋がらない要支援者が一定割合いる事を認識し、従来の社会資源は入所機能だけでなく、通所を通し、市区町村単位の地域で、家庭の問題は地域の中で支える必要性がある事を認めている事になる。

我々自立援助ホームでは全国自立援助ホーム協議会にて「自立援助ホームあり方検討委員会」を発足し、本格的な議論を始めた。私は同協議会の副会長として、未来の自立援助ホームの可能性を図る「多機能化、高機能化グループ」の座長を務め提案をしている。それは「自立援助ホームおける通所機能」「児相以外の市区町村からの入居」「就学支援」「ステップハウス（社会生活移行支援）」「一時保護機能」「青年期支援」をテーマとして挙げ、奇しくも国が提案している内容と重なっている。それはこの数年、厚生労働省の担当者とは度重なる意見交換の場を通して、我々現場の声を丁寧に拾って下さった結果だと認識している。法改正とは、今の現行制度では解決してない課題をより良い制度に変える為のものである。

我々は目の前にいる青年と丁寧にに関わり、青年達の声からこの国はどう変わるべきかを社会や行政に投げかけてきた。少子高齢化社会が加速する世の中で、20年後の2040年は日本の人口が約1,900万人減で、うち就業者数も約1,500万人減少し、高齢化率は35.3%まで上がる。(R2厚労白書他)

この国は今まで、若者を丁寧に支える社会を自己責任の下に軽視していたが、若者一人ひとりを大切にして、健全な納税者を一人でも多く育てていかなければ、この国はいずれ共倒れになってしまうだろう。その重要な責務を自立援助ホームが担っている (前川)



ご支援ありがとうございました

ご支援頂いた方の氏名（イニシアル）及び品名（令和2年11月より令和3年10月末まで）

ボランティア (16名)	NS様、WC様、ST様、HK様、SH様、HK様、HN様、NK様、AY様、TK様、KY様、SR様、SM様、茅ヶ崎地区BBS会様
物品寄付 (132名)	NT様(野菜)、GM様(食品)、O夫妻様(お菓子)、IY様(食品・日用品)、I様(食品・入浴剤)、GC様(ハム)、MK様(フルーツ)、NM様(チョコ)、MN様(衣類・食品)、IM様(みかん・ゼリー)、YM様(みかん・洗剤)、FM様(お菓子)、F夫妻様(食品・日用品)、YC様(お菓子)、S夫妻様(食品)、I夫妻様(落花生・梨)、NA様(うなぎ他)、YS様(お花・フルーツ)、KY様(お惣菜・布団乾燥機)、TK様(食品)、YI様(フルーツ)、TH様(里芋)、OY様(食品・日用品)、OT様(りんご・日用品)、H様(食品)、SM様(野菜)、OM様(メロン・鍋他)、KT様(食品)、I夫妻様(落花生他)、HM様(雑貨他)、NC様(フルーツ)、AK様(カレンダー)、IN様(みかん)、IY様(食品他)、T夫妻様(みかん)、SK様(雑貨・コーヒー他)、Y様(りんご)、IM様(食品他)、NC様(ジュース)、Y夫妻様(お米・本)、IS様(食品・カレンダー)、F夫妻様(ラーメン)、YM様(みかん)、IA様(食品他)、K夫妻様(お肉)、O様(みかん・お米)、YI様(お米他)、HA様(食品他)、FM様(お菓子)、OE様(漫画)、K様(野菜等)、F様(食品他)、NM様(ラフランス)、K様(切手・野菜)、K夫妻様(唐揚げ他)、MH様(お菓子)、AS様(食品・切手)、U様(食品)、ST様(野菜)、S様(入浴剤)、MY様(お米)、HK様(食品)、US様(オリーブオイル他)、SM様(雑貨他)、K様(衣類他)、SK様(いよかん)、OT様(野菜)、IM(ラスク)、A様(お米等)、SH様(衣類・日用品)、O様(玄米)、F様(野菜)、T様(みかん・パスタ)、MD様(プリン)、K様(ゆずジャム)、K様(人参)、Y様(大根)、Y夫妻様(文旦)、KS様(お米他)、K様(せり他)、S様(Yシャツ)、S様(和菓子)、SS様(ボートナップス)、TY様(日用品)、KS様(サラダ油)、TK様(パン)、NH様(お米他)、I様(日用品)、IN様(食品)、S様(おしるこ)、SM様(レタス)、TY様(日用品)、KY様(洗剤)、YS様(パン)、U様(お米他)、H様(衣類)、T様(洋菓子)、K夫妻様(和菓子)、KJ様(メロン・さつまいも)、N夫妻様(野菜)、KK様(野菜)、E様(雑貨)、TY様(商品券)、SM様(さくらんぼ)、H夫妻様(冷食)、I様(きゅうり)、K夫妻様(じゃがいも)、MN様(うどん他)、F夫妻様(カタログギフト)、HM様(お米・朝顔)、G様(ラップ)、ZA様(素麺)、IS様(角煮まん)、OT様(お菓子)、A夫妻様(素麺)、IT様(青じそ他)、M様(スイカ)、SR様(食品)、Y夫妻様(パン)、TY様(梅干し)、MT様(本)、MM様(お米他) NH様(食品)、TN様(食品他)、MA様(衣類他)、S様(お米)、R様(お菓子他)、YA様(マスク他)、NN様(春巻き他) S様(お菓子・ジュース)、YH様(足湯器)、NC様(雑貨他)
寄付金 (64名) ※定期寄付 含む	KS様、FM様、F夫妻様、YM様、K様、HS様、HA様、F様、KS様、KK様、KT様、KS様、S夫妻様、NH様、OY様、FM様、AK様、UM様、M夫妻様、NK様、NT様、AK様、NH様、FM様、IT様、MY様、KN様、HK様、KK様、FT様、MM様、MN様、TN様、F夫妻様、IM様、AY様、KT様、AY様、IA様、NC様、OM様、OE様、YA様、HM様、N様、G夫妻様、YM様、SA様、YM様、NC様、MK様、OA様、NN様、D夫妻様、MT様、HT様、GM様、NJ様、AM様、TI様、WY様、KM様、MT様、Y夫妻様
定期寄付 <物品> (13名)	K夫妻様(お米・卵)、OY様(野菜)、IT様(ごま油)、OY様(天美卵・フルーツ)、AS様(雑貨・食品他)、CA様(有機野菜)、IK様(野菜)、NS様(食品)、YY様(ふるさと納税他)、HK様(食材・洗剤他)、MM様(フルーツ・かまぼこ)、TY様(フルーツ)、KM様(お菓子・食器他)、
団体から <金銭、 物品> (28団体)	茅ヶ崎ホーションライオンズ様、かながわ湘南ロータリークラブ様、元気フォーラム様、イオン様、コストコ様、We21ジャパンさむかわ様、WE21ジャパンにのみや様、片瀬にこにご広場様、カズノ様、おてらおやつクラブ様、フードバンクかながわ様、わたぼうし様、セカンドハーベストジャパン様、カープス様、藤沢地区更生保護女性会様、茅ヶ崎地区更生保護女性会様、松浪1丁目自治会様、サ建設様、川崎愛児園様、おおいそ学園様、シュガーレディ様、生活クラブ湘南理事会様、神奈川県様、ふらっとパル様、龍源寺様、茅ヶ崎市民活動サポートセンター様、生協相武台デポ-様、加藤工業様、藤沢市社会福祉協議会様、老人ホームアポ-様、日本レアル様、ゆりかご園、全国自立援助ホーム協議会様、バリュー湘南様、緑ヶ浜自治会様、まちづくりネット茅ヶ崎様、さざなみ様、読売新聞海老名様、BENIRING様、白十字会林間学校様

コロナ禍で外出自粛の中、届く荷物やお手紙にとっても励まされました。人と会えない事で気持ちが煮つまっていたのだと思います。ありがとうございました。

ご支援のお願い

いつもご支援ありがとうございます。自立を目指す少年たちを支えていくためには、多くの人につばさの家の存在を知って頂く事が大切だと思っております。ご支援頂いた方には今後もつばさの家の活動報告をさせていただきます。

物品のご支援

食料のご支援は、少年たちの食事に使わせて頂き、日々の活動の源になっています。現在、切らしている食料品は「みりん、料理酒、サラダ油」です。「しょうゆ、パスタ、とりがらスープの素」も少なくなっています。レトルトカレーやカップラーメン、袋ラーメンなどの「インスタント食品」は、彼らの休日に頂いたり OB への食料支援として活用させて頂いています。朝食のおにぎりに使う「ふりかけ」、「野菜ジュース」、「パン」、「フルーツ」も重宝しています。野菜やお肉、冷凍食品、納豆や卵などの日配品のご支援は大変助かります。「定期的な食料のご支援」も募集しています。

生活用品については、「キッチンペーパー」、「柔軟剤」、「食器用洗剤」が切らしがちです。最近は新型コロナウイルスが落ち着きつつあり、近くの公園などで遊ぶ機会も増えつつあります。「スポーツ用のボール」、「スポーツ道具（野球のグローブ etc…）」などがありましたら嬉しいです。また、屋内での余暇も過ごせる「ボードゲーム」、「テーブルゲーム」、「TV ゲーム」等も助かります。

また、最近は布団類が無くなりつつあります。新しい入居の少年を温かく迎えられるように、新しい布団を一式用意しています。特に「掛布団」、「敷布団」、「シーツ」、「タオルケット」、「枕」が必要です。

上記以外の物品についても募集していますので、ご相談下さい。

経済的なご支援

ホームの足らざる運営費としてのご寄付は大変ありがたいです。（振り込み口座は表紙に記載していません。寄付控除の領収書も発行できます。）

<羽包みのスポンサーを募集します！>

本通信は毎回 1,000 部を印刷して広報させて頂いており、印刷費が約 35,000 円かかっています。今回は以前より食料品、物品やご寄付などご支援頂いている方（匿名様）より印刷費のご支援と、温かいメッセージを頂きましたので掲載いたします。

「湘南つばさの家の皆さまへ、ささやかなお手伝いができることは、私どもにとってうれしいことだと感謝の気持ちであります。今後も、おひとり、おひとりの夢に向かって、軽やかに楽しくおすすみくださいますようお願い申し上げます。」

来年もご支援頂ける個人様、団体様、企業様を募集しております。何かの記念に、節目に、お祝いに、スポンサーになって下さった方には紙面の一部にて広報させていただきます。（ご寄付の際、お申し出下さい）

ボランティア、求人募集

食事作りのボランティア（月 1 回～）、またはパートの方（週 1 回～）を募集しています。主に夕方からの 3、4 時間程度で、夜の時間が難しい方は応相談致します。また宿直を行える方、大学生（または院生）で自立支援の現場を勉強されたい方、大歓迎です。正式でなくてもお気軽にお問い合わせ下さい。

（編集後記）毎回、本通信の編集には試行錯誤してしまいます。稚拙な部分もあると思いますが、それでも手に取って読んで下さる皆さまに感謝いたします。いつもありがとうございます。